

# 京都きもの友禅株式会社

2012年3月期 第2四半期決算説明会

## ■ 振袖を入口とした呉服販売

- 成人式対象者を新規客として毎年獲得
- 振袖46%、一般呉服42%、宝飾9%、レンタル3%(11/3期実績)

### ◆ 現金買取方式による安価な仕入

- 一流メーカーと直接交渉の上、高品質な商品を大量発注

### ◆ DMを中心とした効果的な集客

- 2011年成人対象女性:約60万人(内、当社商圈人口:約50万人)

### ◆ オフィスビルを中心とした出店で出店費用を圧縮

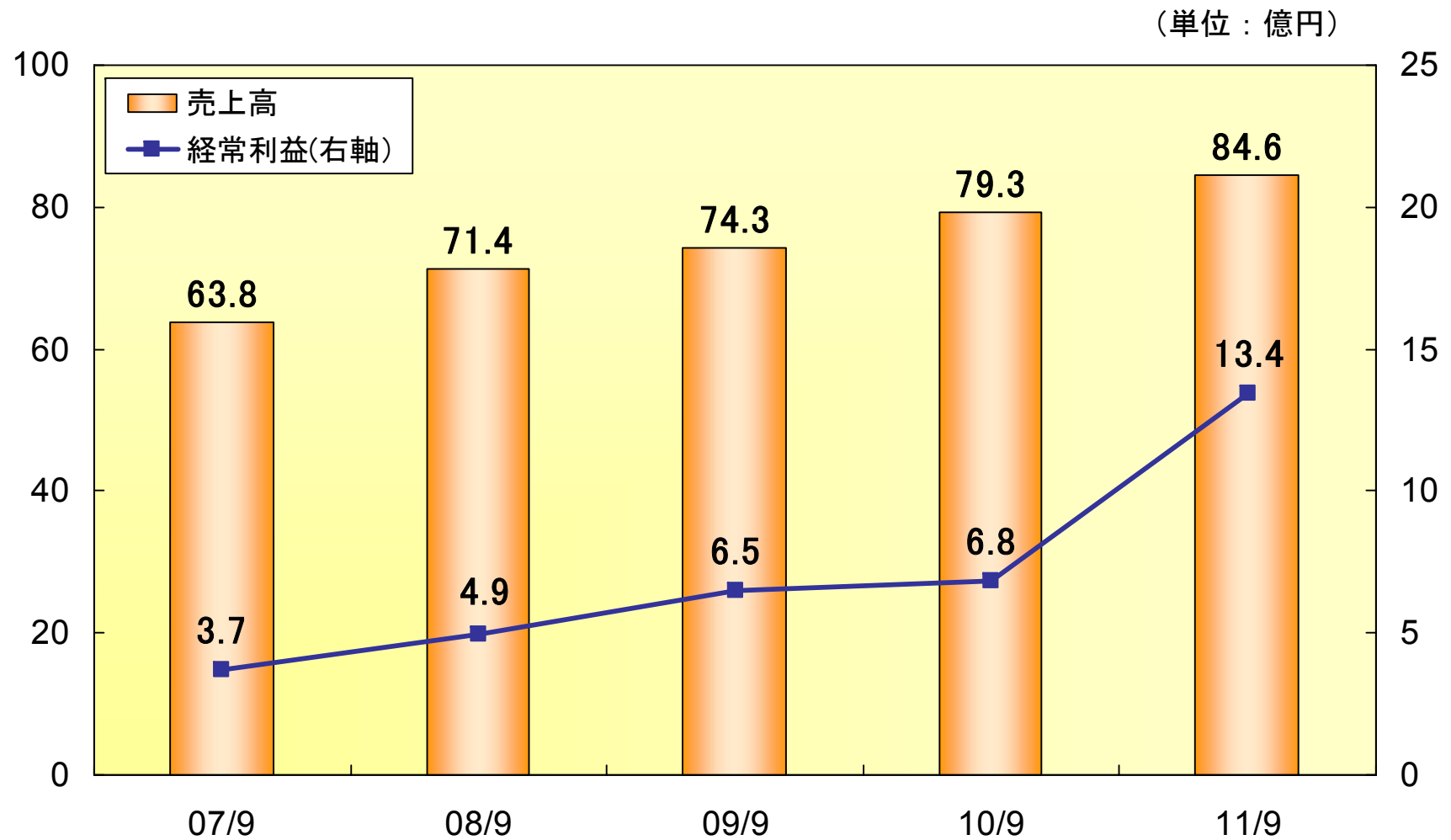
- 1店舗当たりの出店コストは駅ビル等の1/2~1/3程度

## ■ 友の会制度を中心とした優良顧客の確保

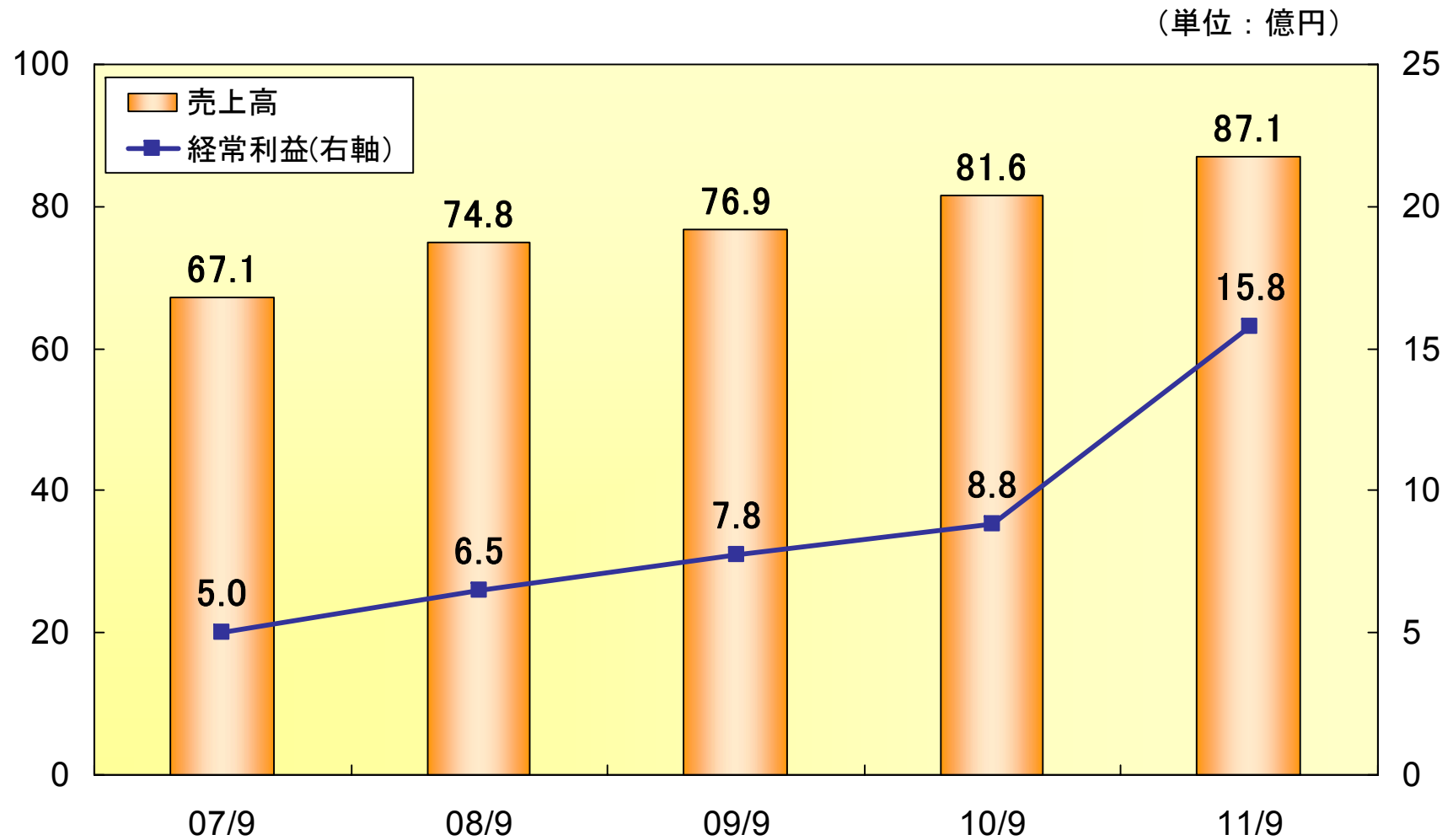
- 振袖購入者の母親を中心に約42%が友の会へ入会

# 2012年3月期 上半期概要

# 上半期概要－ ①業績の推移（単体）（金融サービス事業除く）



# 上半期概要－ ②業績の推移（連結）



# 上半期概要一 ③損益抜粋（単体）（金融サービス事業除く）



（単位：百万円、％）

	2010/9実績		2011/9実績		前年比	2011/9当初計画		計画比
		売上比		売上比			売上比	
受注高	8,177		8,604		105.2	8,050		106.9
売上高(出荷高)	7,926	100.0	<b>8,459</b>	<b>100.0</b>	106.7	7,840	100.0	107.9
売上総利益	5,059	63.8	5,466	64.6	108.0	4,987	63.6	109.6
販管費	4,398	55.5	4,154	49.1	94.4	4,187	53.4	99.2
内) 広告・販促	1,551	19.6	1,332	15.7	85.9	1,338	17.1	99.6
人件費	1,780	22.5	1,800	21.3	101.1	1,764	22.5	102.0
営業利益	661	8.3	<b>1,312</b>	<b>15.5</b>	198.6	800	10.2	164.1
営業外損益	23	0.3	30	0.4	126.6	23	0.3	128.8
経常利益	684	8.6	<b>1,342</b>	<b>15.9</b>	196.1	823	10.5	163.1
特別損益	615	7.8	△ 8	△ 0.1	—	△ 11	△ 0.1	76.3
四半期純利益	1,064	13.4	<b>789</b>	<b>9.3</b>	74.2	470	6.0	168.0

- 受注高……………「振袖」、「一般呉服」ともに来店者数、集客数が継続的に増加傾向で推移したことにより、受注高は前年比＋5.2%。
- 広告費……………夏期のTVCMを今期はカットしたことを主要因として、上期累計では前年比△205百万。
- 販促費……………一般呉服販売における催事経費の見直し・削減を図ったことを主要因として、上期累計では前年比△13百万円。
- 人件費……………期中平均人員数(前年同期比△13人、計画比△8人)
- 特別損益……………前期：「KYクレジット」合併に伴う抱合せ株式消滅差益として、特別利益を768百万を計上。(連結時相殺)  
また、「資産除去債務に関する会計基準」の適用により、特別損失156百万を計上。

# 上半期概要一 ④損益抜粋（連結）

（単位：百万円、％）

	2010/9実績		2011/9実績		前年比	2011/9当初計画		計画比
		売上比		売上比			売上比	
受注高	8,405		8,850		105.3	8,279		106.9
売上高(出荷高)	8,156	100.0	<b>8,705</b>	<b>100.0</b>	106.7	8,069	100.0	107.9
売上総利益	5,217	64.0	5,630	64.7	107.9	5,136	63.7	109.6
販管費	4,349	53.3	4,072	46.8	93.6	4,107	50.9	99.1
内)広告・販促	1,555	19.1	1,336	15.4	85.9	1,341	16.6	99.7
人件費	1,814	22.2	1,806	20.8	99.6	1,771	21.9	102.0
営業利益	867	10.6	<b>1,558</b>	<b>17.9</b>	179.7	1,029	12.8	151.4
営業外損益	16	0.2	21	0.2	130.6	15	0.2	139.7
経常利益	882	10.8	<b>1,579</b>	<b>18.1</b>	178.9	1,044	12.9	151.3
特別損益	△142	△1.7	△ 8	△ 0.1	5.9	△ 11	△0.1	76.3
四半期純利益	475	5.8	<b>925</b>	<b>10.6</b>	194.8	597	7.4	155.0

<b>1株利益(EPS)</b>	26.25円		<b>63.18円</b>		240.7	40.76円		155.0
------------------	--------	--	---------------	--	-------	--------	--	-------

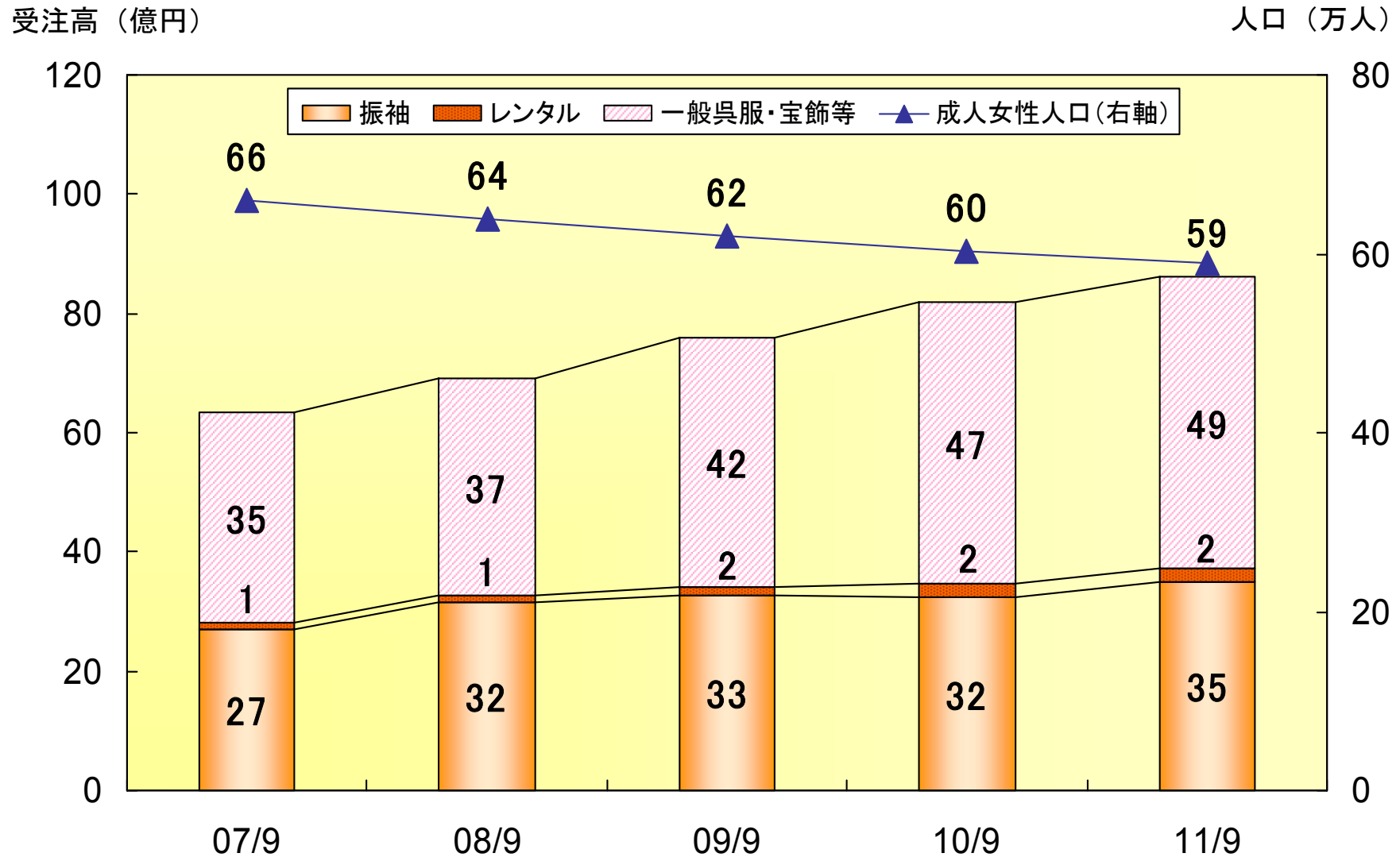
※ 金融サービス事業および連結子会社の連結損益への影響額

●金融サービス事業： 売上高 【+278百万】、営業利益【+208百万】

●友の会： 売上高 【△ 32百万】、営業利益【+ 38百万】

※ 平成22年11～12月にかけて自己株式の公開買付を実施したため、EPSは前年同期と比べて大きく増加。

# 上半期概要－ ⑤受注構成の推移





## 上半期概要－ ⑥友の会の状況

(単位：人、百万円)

		2010/9	2011/9	増減
会 員 数		59,855	64,322	+ 4,467
利用 状況	会員による受注高	1,151	1,114	△ 37
	一般呉服等の受注全体に 占める比率	24.4 %	22.9 %	△ 1.6 pt
	平均購入倍率	3.2 倍	3.5 倍	+ 0.3 pt
積立残高総額		3,229	3,363	+ 134
内)積立完了未使用		2,486	2,562	+ 77
未使用の比率		77.0 %	76.2 %	△ 0.8 pt

- 振袖受注件数の増加及び入会率の向上に伴い、友の会入会件数は前年比+ 11.0 %。  
(入会率：42.1 % 前年比+ 4.9pt)
- 会員受注高については、平均購入倍率が+0.3ptとなったものの、利用件数が△6.5%となったこと  
に伴い、前年比△ 3.2 %。

# 2012年3月期 通期見通し

# 通期見通しー ①通期修正計画（単体）（金融サービス事業除く）



（単位：百万円、％）

	2011/3 実績		2012/3 当初計画		前年比	2012/3 修正計画		前年比
		売上比		売上比			売上比	
受注高	17,001		16,550		97.3	17,103		100.6
売上高(出荷高)	16,714	100.0	<b>16,550</b>	<b>100.0</b>	99.0	<b>17,096</b>	<b>100.0</b>	102.3
売上総利益	10,627	63.6	10,501	63.5	98.8	10,934	64.0	102.9
販管費	8,836	52.9	8,641	52.2	97.8	8,579	50.2	97.1
内) 広告・販促	3,128	18.7	2,956	17.9	94.5	2,893	16.9	92.4
人件費	3,568	21.4	3,546	21.4	99.4	3,582	21.0	100.4
営業利益	1,790	10.7	<b>1,860</b>	<b>11.2</b>	103.9	<b>2,355</b>	<b>13.8</b>	131.6
営業外損益	22	0.1	48	0.3	216.4	55	0.3	247.9
経常利益	1,812	10.8	<b>1,908</b>	<b>11.5</b>	105.3	<b>2,410</b>	<b>14.1</b>	133.0
特別損益	566	3.4	△21	△0.1	—	△18	△0.1	—
当期純利益	1,675	10.0	<b>1,094</b>	<b>6.6</b>	65.3	<b>1,386</b>	<b>8.1</b>	82.7

## <修正計画の前提>

- 震災直後の前期3月は受注が大幅減少したものの、4月以降、受注は着実に回復し、上期受注高としては過去最高額となった。
  - 当社においては、第4四半期(1～3月)の販売ウエイトが年間で最も高く、不確定要因も多いことから、現時点の下期計画としては当初計画並の水準を見込む。
- 通期修正計画としては、上期の実績値に、下期の当初計画値を加味した数値で策定。

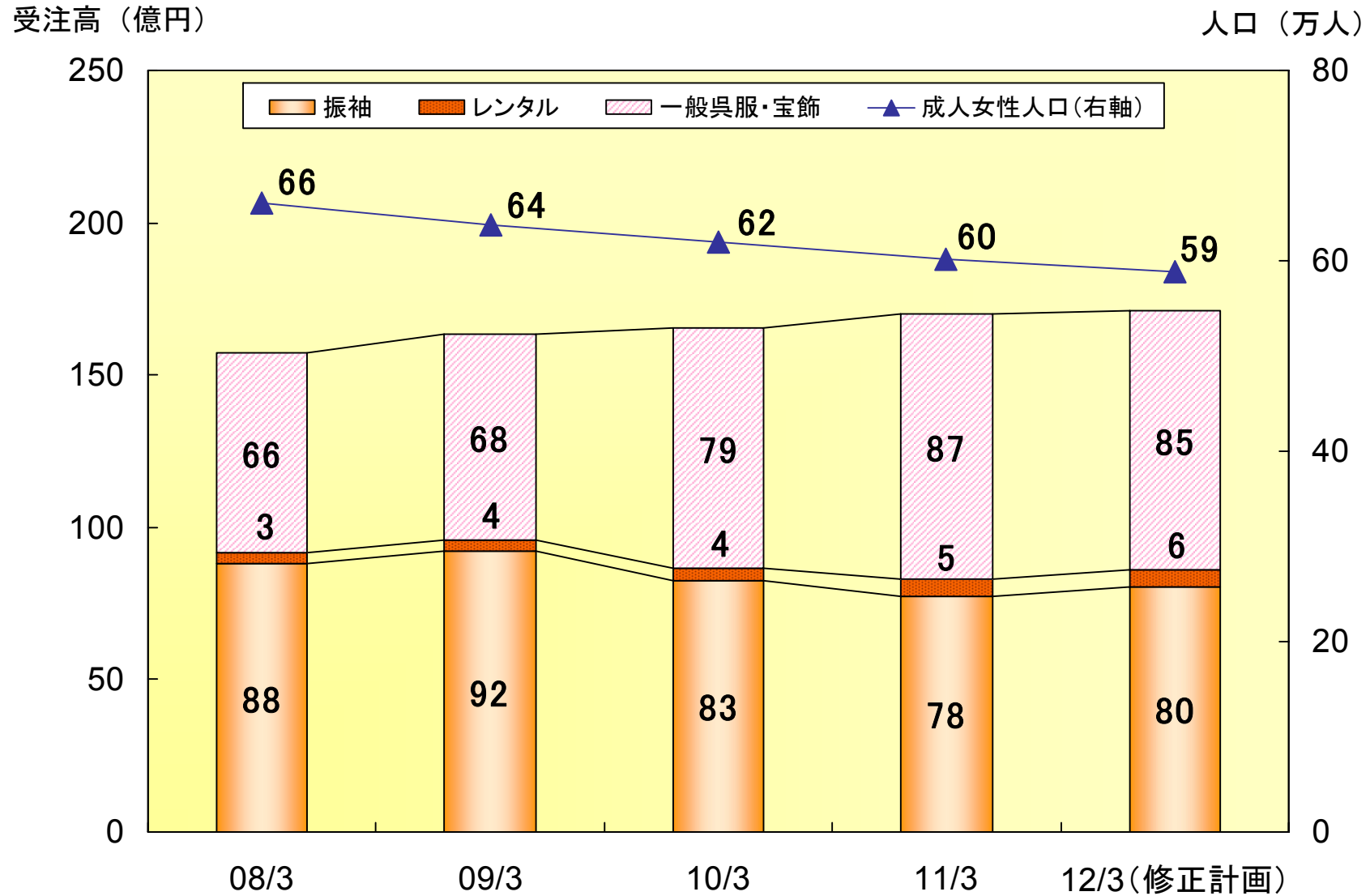
## 通期見通し－ ②通期修正計画（連結）

（単位：百万円、％）

	2011/3 実績		2012/3 当初計画		前年比	2012/3 修正計画		前年比
		売上比		売上比			売上比	
受注高	17,461		17,026		97.5	17,607		100.8
売上高(出荷高)	17,174	100.0	<b>17,026</b>	<b>100.0</b>	99.1	<b>17,600</b>	<b>100.0</b>	102.5
売上総利益	10,940	63.7	10,816	63.5	98.9	11,280	64.1	103.1
販管費	8,709	50.7	8,496	49.9	97.5	8,432	47.9	96.8
内) 広告・販促	3,137	18.3	2,961	17.4	94.4	2,899	16.5	92.4
人件費	3,610	21.0	3,559	20.9	98.6	3,595	20.4	99.6
<b>営業利益</b>	<b>2,231</b>	<b>13.0</b>	<b>2,320</b>	<b>13.6</b>	104.0	<b>2,848</b>	<b>16.2</b>	127.6
営業外損益	5	0.0	31	0.2	566.2	37	0.2	674.0
<b>経常利益</b>	<b>2,236</b>	<b>13.0</b>	<b>2,351</b>	<b>13.8</b>	105.1	<b>2,885</b>	<b>16.4</b>	129.0
特別損益	△189	△1.1	△21	△0.1	—	△18	△0.1	—
<b>当期純利益</b>	<b>1,220</b>	<b>7.1</b>	<b>1,350</b>	<b>7.9</b>	110.7	<b>1,660</b>	<b>9.4</b>	136.1
<b>1株利益(EPS)</b>	<b>70.58円</b>		<b>92.18円</b>		130.6	<b>113.34円</b>		160.6
<b>ROE</b>	<b>10.7%</b>		<b>12.9%</b>			<b>15.7%</b>		

※ 平成22年11～12月にかけて自己株式の公開買付を実施したため、EPS、ROEは前期と比べて大きく増加

# 通期見通しー ③受注構成の推移



## 《全社的に、コストを抜本的に見直し》

- ◆ 厳しい消費環境・受注状況の中でも、安定的な収益を生み出せるよう、全社的に、全ての経費の抜本的な見直し・削減を図る。

## 《振袖について》

- ◆ 各エリアの集客状況をきめ細かく検証し、広告内容(媒体形態、アプローチ時期、回数等)を継続的に改善。
- ◆ 成人対象者データベースの構築を強化(データ保有企業との提携を含む)。
- ◆ 成人対象者のみならず消費者全体に対する認知度・企業イメージの向上を図る。

## 《一般呉服について》

- ◆ 営業部門の組織体制の更なる強化を図る。
- ◆ 継続的に、魅力ある新たな催事の拡充を行い、既存顧客全体の更なる活性化を図る。
- ◆ 友の会への入会促進を通じて、将来的な当社のファンの更なる増加を図る。
- ◆ 従来以上に、既存顧客との深い信頼関係を築くためのアフターフォローを更に強化。

◆ 配当については、引き続き、安定的かつ継続的に実施していく予定。

◆ 自己株式の消却について

11年10月26日付で、当社が保有する自己株式の一部を消却することを決議。

・消却予定株式総数 1,000,000株  
(消却前の発行済株式総数に対する割合 5.41%)

・消却予定日 平成23年11月10日

(参考)

・消却後の発行済株式総数 17,498,200株  
・消却後の自己株式数 2,852,593株

### 注意事項

本資料に記載されている将来の見通しに関する数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

これらの見通しは様々なリスク及び不確定要因を含んでおり、実際の業績は異なる結果となる可能性がございます。